

身近に潜む交通事故 — 私たちにできること —

市内で発生している人身事故のうち、半数以上は高齢ドライバーが関係する事故です。事故は主要道路だけでなく、普段利用している生活道路でも多く発生しています。ニュースで目にするような重大事故は、決して遠い場所で起きている出来事ではなく、私たちの身近にも起こりうるものです。急いでいたり、焦っていたりすると判断が遅れ、思わぬ事故につながる可能性があります。時間に余裕を持ち、落ち着いた気持ちで運転することが安全運転への第一歩です。警察も、行政など関係機関と連携しながら、高齢ドライバーを支える取り組みを続けていきます。

意識してほしい3つのポイント

① 予見運転を心がける

「車や人が飛び出してくるかもしれない」「前の車が急ブレーキをかけるかもしれない」など、不測の事態を予測しながら運転することが大切です。

② 油断や慢心をしない

慣れた道ほど気が緩みやすくなります。いつもの道だからこそ気を引き締め、安全確認を怠らないよう心がけましょう。

③ 時間と心にゆとりをもつ



篠山警察署 交通課長
寺内大貴さん

考えていますか？ 運転との向き合い方

高齢者の事故防止に取り組んでいる
市民安全課の安井さんに話を聞きました

私の祖父は、90歳近くまで車を運転していました。ある日、サイドブレーキを引き忘れ、自宅前の田んぼに車が突っ込むという事故を起こしました。幸い、車の破損だけで済んだものの、祖父は、この事故をきっかけに免許を返納しました。現在、父母も70代後半に差し掛かりました。父母ともに、車は、農作業や買い物、病院通いなど日常生活に欠かせず、「元気に動ける間は運転したい」と言っています。

しかし、年齢とともに交通法令の理解が薄れたり、身体機能や運転技能が衰えたりすることは避けられません。その一助とするため、令和6年度から実施しているのが、この「シルバードライバースクール」です。事故予防のポイントや車の死角認識を中心に講習を行います。

誰も事故は起こしたくありません。運転に不安を感じたら家族に相談してください。祖父のように、運転免許を自主返納する決断も必要です。私も運転と向き合い、父母の年齢ぐらいまでは安全にハンドルを握れるようにしたいです。



市民安全課長
安井聡博さん

シルバードライバースクールのご案内

受講料
無料

と き 10月28日(水) 午前=9:30~11:50
午後=13:30~15:50
※午前午後とも同じ内容です。

場 所 篠山自動車教習所
内 容 ①講話(篠山警察署、JAF)②講話(自動車の死角認知)、教習車で運転実習
対 象 市内在住の65歳以上の方
定 員 80人 ※応募多数の場合は抽選。
申し込み 申込書(市ホームページ掲載)を持参、郵送、FAX、またはメール

※申込書は市民安全課、各支所にも設置しています。

期 限 9月28日(月)
主 催 丹波篠山市、(公社)丹波篠山市シルバー人材センター



問い合わせ

市役所第2庁舎1階 市民安全課 消防交通係
電話552-5117、FAX 554-2332
メール simin_anzen_div@city.sasayama.hyogo.jp

一人一人の心がけが、交通事故のないまちづくりにつながっていく

丹波篠山市では日常生活の中で車が欠かせない場面が多くあります。だからこそ「危ないから運転をやめる」という選択だけでなく、安全に運転を続けられるよう家族や地域で声を掛け合い、必要なサポートを受けながら支えていくことが大切だと、今回の取材を通して感じました。

運転は好きなので、こういった学ぶ機会を活用して、安全第一で、できる限り続けていきたいです。



昨年度の参加者
樫尾善子さん

参加してみた感想は？

交通ルール・法令も変わり、新しいことも教えていただき、運転免許の更新に役立ち、助かります。こういった機会を継続してほしいです。自分を見直す良い機会のため、また参加したいと思っています。

参加を迷っている方へ

年齢とともに衰えているところは必ずあります。「まだまだ大丈夫」ではなく、自分の事として、一度講習を受けてみませんか？



人が好き まちが好き
街かど
Report

シルバードライバースクール

～安全に運転を続けるためにできること～



少子高齢化が進む中、地域の担い手として多くの高齢者の方が活躍しています。農業や地域活動を行う移動手段として、車は欠かせない存在です。だからこそ、安全に運転を続けるための備えが重要になります。

問い合わせ

市民安全課 ☎552-5117



リポーター
己やまみさ
小山美樹さん

今年、市内で発生した交通事故

(6月末時点)

人身事故 47件
物損事故 635件
死亡事故 0件

計 682件



特 徴

- 半数以上が高齢者によるもの
- 87%が篠山・丹南地区で発生
- 47件中34件が車対車の事故
- 事故が起こる時間帯
一番多い 12時～14時
次いで多い 14時～16時
- 早朝や夜間ではなく、日中の慣れた道での事故が多い

暮らしを支える
「車」と「安全運転」

丹波篠山市では多くの高齢者の方が農業や地域活動など、さまざまな生活の中で、欠かせない移動手段の一つです。一方で、高齢ドライバーによる交通事故への不安も社会的な問題となっています。今年、市内で発生した交通事故のうち、人身事故の半数以上が、高齢ドライバーに関わるものとなっており、丹波篠山市においても、「運転を続けること」と「安全を確保すること」の両立が求められています。

安全に運転を続けていくためには、自身の運転技能や年齢による身体機能の変化を正しく認識すること

が大切です。運転免許を更新する際、70歳以上の場合には高齢者講習の受講が義務付けられており、75歳以上になると認知機能検査も必須となります。市では、運転免許更新時の高齢者講習の内容を踏まえた「シルバードライバースクール」を開催しています。この講習は、65歳以上の高齢者を対象として、篠山警察やJAFによる講習、そして高齢ドライバーの特性を踏まえた運転実習を受けることができます。

こうした機会を活用して自分の運転を改めて見直してみることが大切です。日々の暮らしを支える車の運転を安全に続けていくために、できることから備えていきませんか？

